

第 6 回 薬業連携の会開催報告書

日時：2019 年 11 月 19 日（木）18：30～19：30

場所：日本医科大学武蔵小杉病院 C 館会議室

参加者数：計 33 名

日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部…15 名 ：アイランド薬局小杉店…5 名
コクミン薬局武蔵小杉店、ミキ薬局武蔵小杉店、薬樹薬局小杉店…各 2 名
薬樹薬局小杉 2 号店、日本調剤こすぎ薬局、フレンド薬局、中野島 CS ファーマシー
今井上町薬局、すずの音薬局、川崎市薬剤師会…各 1 名

議題：①川崎市疑義照会プロトコール運用開始後の状況と問題点

②クラス I の回収についての取り組み

③台風等の災害時の対応

演者：日本医科大学武蔵小杉病院薬剤部 笠原英城先生

意見交換会に関し以下の発言があった。

①川崎市疑義照会プロトコール運用開始後の状況と問題点

- ・プロトコール開始後アンケート調査を行い、80%の医師より業務が楽になったと回答があり、現状を厚生局に提出した。
- ・プロトコールに該当する処方箋がきていないのが現状であり、1 回も使用していない。
- ・一包化の返事を待たずに調剤できるのが楽になった
- ・残薬調整のプロトコールに踏み込みたいが諸般の事情により、踏み込めない。
- ・残薬調整はリウマトレックスなど、日数変更が難しい薬剤もあり、踏み込めないのが現状。
- ・プロトコール使用時のレセプトの仕方は摘要欄へコメント記載することで、厚生局から返戻や指摘を受けたことはない。

②クラス I の回収についての取り組み

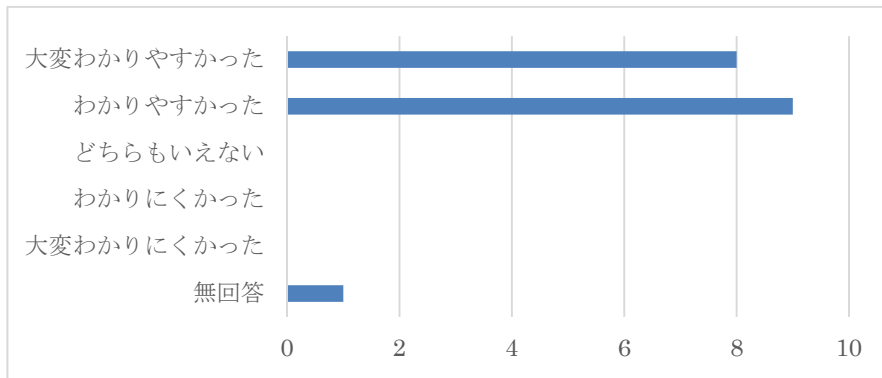
- ・患者に連絡した。H2 受容体拮抗薬は中止となったため、代替薬処方のために発生した費用を請求した患者はいなかった。
- ・連絡を取ろうとしたが、取れなかった。
- ・製薬会社から薬剤師に回収する義務はないと聞いていたが、連絡した。
- ・薬剤師は回収する義務はないが、協力するように努めなければならない。

③台風等の災害時の対応

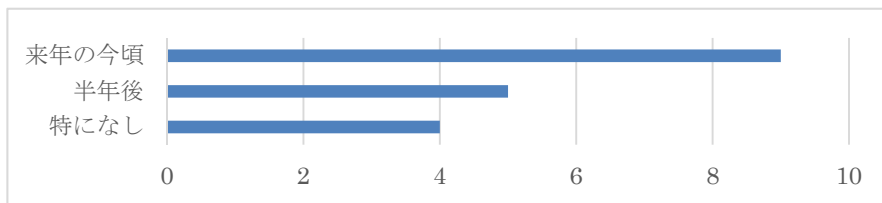
- ・帰宅困難になった際は、病院に宿泊できれば、防犯上の問題を含め安心できるので検討してほしい。
- ・災害時の対応は店舗ごとの判断となる。
- ・次回どのようにするかは指導は受けていない。

意見交換会に際し、参加者（当院薬剤部を除く）に対しアンケートを行い、18 名より回答があった。以下、アンケート内容と結果を示す。

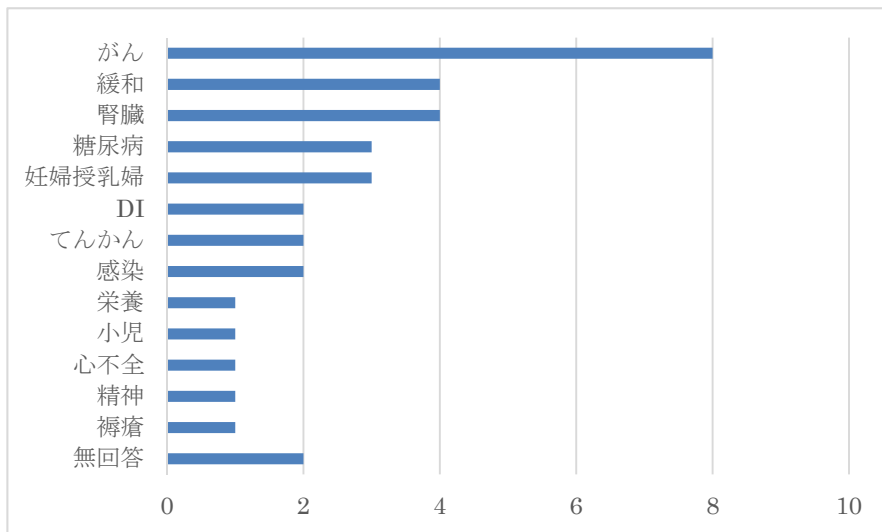
【内容について】



【開催時期について】



【テーマについて】



【フリーコメント欄】

- ・大変勉強になった。
- ・病院薬剤部の考えが聞けて良かった。
- ・薬剤部長を中心にととても開かれた会をされていると感じた。
- ・災害時の対応の仕方について考えさせられる内容だった。会社ごとの対応の仕方もあると思う、個々で出来ることを考える必要があると思った。
- ・台風や地震でけがをした方の救急のみを受け入れることにしてはいいかがか。
- ・開催時間をもう少し遅くしていただけると助かる。